

2/2 2023

vol. **4**
CONTENTS

Cover illustration
あんず (@_azuazu_)

- 02 SDGs+写真館
縄文デイズ、銀座に三内丸山遺跡
- 04 特集 SDGsとラジオ
ラジオDays
- 06 オープニングのようなもの
目に見えないもの 感じる声のカタチ

- 08 INTERVIEW
ラジオ愛、語ってください！

スナック SDGs	TBS ラジオ	UPDATER・竹蓋優貴[スポンサー]
サステナ*デイズ	TOKYO FM	イー・エー・ユー・河村晴[ディレクター]
はきださ Night!	BSS ラジオ	BSS 山陰放送・森谷佳奈[パーソナリティ]
radiko	トップに聞く	radiko 代表取締役社長・青木貴博

- 24 ラジオとSDGs論 書き起こし職人・みやーんZZ

- 28 現場を歩く
ココロスキップ「点字名刺プロジェクト」 相次ぐラジオ出演

- 32 アイドルは地球を救えるのか？
CoCoLo♡RiPPLe SDGs×アイドル×ラジオ[インタビュー&ミニ写真特集]

- 38 エンディングのようなもの
企業もラジオに夢中 テルミック 自社ラジオ「テル★ラジオ」

REGULAR

- 39 朝日新聞 大平要 記者コラム 伝え方 ここがカナメ
不祥事の公表、会見での
やりとりが記者の誤解防ぐ

クリスマスライブでアイドルは叫ぶ。

2022年12月24日、ジングルベルが流れる街角に、多忙を極めるのはサンタだけではない。アイドルはイベントをいくつもハシゴしてファンに“プレゼント”を配って回る。今号で紹介するSDGsアイドル、CoCoLoのRiPPLe(ココロリップル)もそうだ。イブに六本木で行われたクリスマスライブに足を運んだ。「音楽×舞台 Believe」と題した新しい試み。メンバーは舞台で表現し、曲を披露していく。SDGsに関わるテーマについて、体験を交え自らの言葉で語った。時には叫びながら。彼女たちが発する言葉は、楽曲の世界観に引き込むトリガーになっていた。

ライブの余熱がこれを書かせている。言葉は生もので、その瞬間の感情を早く保存しておかないと、とりにぼしてしまふ。だから、帰りの電車でスマホに書き連ねているのだ。

ささいな言い間違いであっても発言者が炎上する時代において、表現は過度に丸まりつつある。テレビがそうだろう。一方、ラジオはパーソナリティが声の角を丸めてしまうと、支持されないエモーショナルなメディアだ。SDGsを理路整然と伝えるのではなく、もっと分かりやすく、身近に、そして、楽しくリスナーに届けることができないか……。ラジオに関わる企業、制作者、パーソナリティなど幅広くインタビューを試みた。どうして、社会性を帯びたメッセージをラジオで感情的に届けるのか？

今号では、できる限りたくさんの方の声を収録した。とくにZ世代と呼ばれる若者に手に取ってもらいたい。そう考え誌面を設計した。若さは希望だが絶望と裏表。ラジオはもちろん、希望だけを語らないが、デジタル時代を生き延びるタフな電波に救われることは多いだろう。